

令和7年度野洲市歴史民俗博物館協議会次第

日時：令和7年11月18日（火）14:00～

場所：野洲市歴史民俗博物館 研修室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 委員紹介

4. 職員紹介

5. 展覧会案内

6. 報告事項

1) 令和6年度事業報告について

2) 令和7年度事業中間報告について

3) 令和8年度予算要求概要について

4) 令和8年度事業計画（案）について

5) 令和8年度秋期企画展（案）について

7. そ の 他

8. 閉 会

野洲市歴史民俗博物館協議会委員

任 期 令和6年5月1日から令和8年4月30日

	氏 名	所 属 等	備 考
1	難 波 洋 三	奈良文化財研究所客員研究員（考古）	4
2	大 橋 信 弥	近江古代史研究会代表（古代）	4
3	母 利 美 和	京都女子大学文学部特任教授（近世）	4
4	中 島 誠 一	成安造形大学・滋賀文教短期大学 講師（民俗）	4
5	井 上 一 稔	同志社大学文学部教授（美術工芸）	4
6	今 井 早奈枝	野洲市文化財保護審議会委員	2・3
7	永 田 征 二	野洲市歴史民俗博物館友の会顧問 （社会教育関係団体）	2・3
8	小 濱 玲 子	野洲市立篠原小学校校長 （小学校校長会代表）	1
9	山 口 孝 志	野洲市立野洲北中学校校長 （中学校校長会代表）	1 （令和7年5月1日から）
10	上 品 充 朗	滋賀県立野洲高等学校校長 （地元高等学校代表）	1 （令和7年5月1日から）

備考

1. 学校教育関係者
2. 社会教育関係者
3. 家庭教育の向上に資する活動を行う者
4. 学術経験のある者

令和 6 年度 野洲市歴史民俗博物館事業報告

【企画展等開催】

- ・春期テーマ展「ちょっとむかしの農具―たがやす、うえる―」入館者数 1,579 人
会期 令和 6 年 3 月 16 日（土）～5 月 26 日（日）[開館日数 61 日]
概要 近世から昭和 30 年代までにかけての農具 38 点を展示。
市史・郷土史講演会(市史編さん事業)
日時 令和 6 年 5 月 18 日（土）14:00～16:00
演題「野洲の暮らしと食～昭和 30 年代を中心に～」
講師 小島朝子氏（滋賀短期大学名誉教授）参加者 35 人
- ・夏期テーマ展「夏休み！こども博物館！」入館者数 1,756 人
会期 令和 6 年 7 月 13 日（土）～9 月 1 日（日）[開館日数 43 日]
概要 こどもを対象に博物館の役割や野洲市の歴史をわかりやすく紹介した。出品資料 110 点。
- ・秋期企画展「北村季吟 ―芭蕉の師・生誕 400 年記念―」入館者数 1,321 人
会期 令和 6 年 10 月 12 日（土）～11 月 24 日（日）[開館日数 38 日]
概要 本市のゆかりの北村季吟生誕 400 年を記念し、季吟の生涯と業績、近江と北村家、俳諧・和歌を学ぶ季吟、新玉津島神社と季吟、初代歌学方北村季吟、季吟の子孫、季吟顕彰のあゆみ、季吟による古典文学の注釈の順に紹介した。出品資料 210 点。
記念講演会等(博物館友の会歴史講座)
1) 日時 令和 6 年 10 月 20 日（日）14:00～16:00
演題「季吟の業績を辿る―文学・和歌・俳諧の距離感―」
講師 宮川真弥氏（天理大学附属天理図書館司書研究員）参加者 27 人
2) 日時 令和 6 年 11 月 2 日（土）14:00～16:00
演題「松永貞徳の肖像と北村季吟」
講師 母利司朗氏（京都府立大学名誉教授）参加者 29 人
展示解説 令和 6 年 11 月 16 日（土）
講師 齊藤慶一（当館学芸員）参加者 18 人
- ・郷土史展「三上山の妙見さん」
会期 令和 7 年 2 月 22 日（土）～5 月 11 日（日）令和 6 年度入館者数 803 人
概要 文化 4 年（1807）に三上藩主遠藤氏が三上山に勧請した妙見宮が、令和 6 年閉眼したことから、妙見堂寄贈資料を中心に、妙見さんの歴史を紹介した。
「市史・郷土史学習会」参加者 47 人
日時 令和 7 年 3 月 22 日（土） 13:30～15:30
概要 担当学芸員より三上の妙見信仰に関わる講演、郷土史展「三上山の妙見さん」の展示解説を行った。

【講座・講演会等】

- ・銅鐸研究会（友の会共催）
1) 日時 令和 6 年 7 月 27 日（土）14:00～16:00
演題 「摂津市明和池遺跡の調査成果―銅鐸片・青銅器鑄造資料の発見―」

講師 伊部貴雄氏（摂津市教育委員会生涯学習課）参加者 15 人

2) 日時 令和 7 年 2 月 15 日（土） 14：00～16：00

演題 「農耕祭器から地域シンボルへー銅鐸における政治性の萌芽ー」

講師 福永伸哉氏（大阪大学人文学研究科教授）参加者 57 人

・歴史講座「戦国末期の畿内と近江」（博物館共催・友の会主催）

1) 日時 令和 7 年 2 月 9 日（日） 14 時～16 時

演題 「三好長慶と六角氏」

講師 天野忠幸氏（天理大学人文学部教授）参加者 70 人

2) 日時 令和 7 年 3 月 16 日（日） 14 時～16 時

演題 「野洲の永原氏、戦国の畿内を駆け抜ける！」

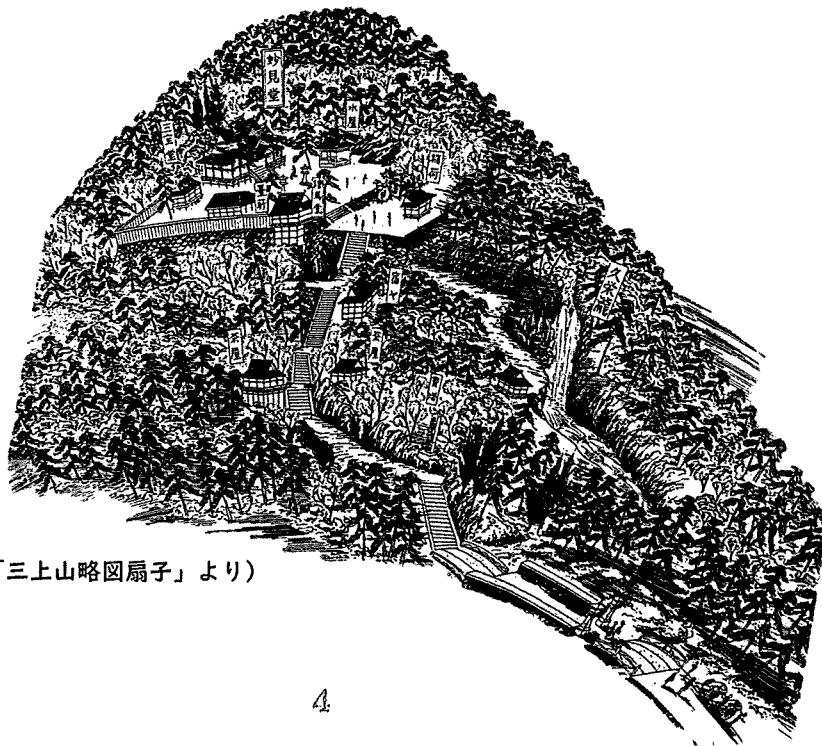
講師 新谷和之氏（近畿大学文芸学部准教授）参加者 87 人

【市史編さん事業】

- ・市史・郷土史学習会
- ・「野洲市史編さんだより」第 53 号 令和 7 年 2 月 22 日発行
- ・史料写真マイクロフィルム電子化

【その他】

- ・藤村和夫氏写真展 藤村和夫氏より昭和 20 年代から野洲市を中心に撮影・収集された写真 186 点の寄贈を受け、常設展示（12～2 月）において一部を紹介した。
- ・体験学習（勾玉、土器・埴輪づくり等）参加者 1,767 人
- ・博物館実習受入
令和 6 年 8 月 20 日（火）～24 日（土） 5 日間 3 人
- ・中学生職場体験
野洲北中学校 2 年生 3 人 令和 6 年 5 月 29 日（水）～31 日（金） 3 日間
野洲中学校 2 年生 3 人 令和 6 年 6 月 12 日（水）～18 日（火） 4 日間
- ・弥生の森の秋まつり（博物館共催・友の会主催）
日時 令和 6 年 9 月 15 日（日） 9 時 30 分～12 時 参加者 325 人
概要 昔遊びや火起こし体験を通じて世代間交流・博物館広報活動を行った。



妙見堂景観図 部分（「三上山略図扇子」より）

令和7年度野洲市歴史民俗博物館事業報告（中間報告）

令和7年11月17日現在

【企画展等開催】

◎春期テーマ展：郷土史展「三上山の妙見さん」※（ ）内は令和7年度

会 期：令和7年2月22日（土）～5月11日（日）[開館日数66日(35日)]

概 要：妙見菩薩を信仰していた三上藩主の遠藤氏が文化4年（1807年）に三上山「妙見宮」を勧請したことに始まる。明治の神仏分離により、「妙見堂」と呼ばれ、初午の日には多くの参詣者があったと伝わっている。しかし、令和6年に閉眼式を行われ、その役割を終えた。

入館者数：1,689名（886名）（うち野洲市民403名（144名））

◎夏期テーマ展：竹工芸作家 杉田静山の世界 ー美へのまなざしー

会 期：令和7年7月18日（金）～9月28日（日）[開館日数62日]

概 要：令和6（2024）年に妻の杉田昭子氏より寄贈いただいた竹工芸作品6点の紹介を中心に、杉田静山の繊細な編組による独自の技と、その作品の美の世界を紹介するとともに、故人のあゆみもあわせて紹介した。

入館者数：2,600名（うち野洲市民715名）

○関連企画：杉田静山氏工房見学会

日 時：9月20日（土）

参 加 者：第1回13：30～14名 第2回15：00～15名 ※定員各15名

◎秋期企画展：「野洲川下流域の暮らしの変貌

ー発掘調査にみる古代・中世ー

会 期：令和7年10月4日（土）～11月24日（月・祝）[開館日数42日]

概 要：野洲市が主体で発掘調査を開始（1974年）して以降、50年が経過し、これまでの調査で明らかとなった成果を集積、近隣市の出土文化財や画像記録もあわせ、古代から中世における野洲川下流域の村々の変貌を官衙・街道・寺院を中心に紹介する。

展示解説：渡邊貴洋（学芸員）

○関連企画：歴史民俗博物館第4収蔵庫見学会

日 時：令和7年10月18日（土）3回実施

参 加 者：13：00～2名

14：00～7名

15：00～3名 合計12名

○関連企画：講演会「野洲川下流域の発掘調査を振り返る」

日 時：11月1日（土）14：00～16：00

講 師：大橋信弥氏（元安土城考古博物館学芸課長）

参 加 者：25名

○関連企画：遺跡見学会

日 時：11月3日（月・祝）10：00～12：30（雨天中止）

内 容：博物館→銅鐸出土地→日吉神社本殿・桜生城→福林寺跡（磨崖仏）→

中山道→桜生史跡公園（円山古墳・甲山古墳、冢形石棺）→博物館
【行程約 5km】

参加者：20名

○関連企画：企画展展示解説

日時：11月3日（月・祝）13：30～

内容：企画展示について渡邊貴洋（学芸員）が解説

参加者：13名

○関連企画：講演会「湖南地域の発掘調査 50 年」

日時：11月9日（日）14：00～16：00

講師：雨森智美氏（栗東市）、畑本政美氏（守山市）、渡邊貴洋（野洲市）

参加者：33名

【講座・講演会等】

◎第 91 回銅鐸研究会（共催：博物館友の会）

開催日時：令和 7 年 8 月 30 日（土）14：00～16：00

演題：「銅鐸埋納の場所について考える－大岩山、銅鐸の谷－」

講師：禰宜田佳男氏（大阪府立弥生文化博物館館長）

参加者：62名（うち野洲市民21人）

【市史編さん事業】

◎史料写真マイクロフィルム電子化（終了）

【その他】

◎中学生職場体験

野洲中学校 2 年生 3 名 令和 7 年 7 月 2 日（水）～4 日（金）

野洲北中学校 2 年生 3 名 令和 7 年 5 月 28 日（水）～30 日（金）

◎博物館実習受入

令和 7 年 8 月 19 日（火）～24 日（日）

同志社女子大学 4 回生 1 名

◎弥生の森体験学習無料研修会

概要：県内外のから多くの児童・生徒の皆様を受入letak、小学校の先生方に体験学習の無料研修会を実施した。

日時：令和 7 年 8 月 25 日（月）13：00～16：00

内容：①「銅鐸の謎」「大岩山銅鐸」他 展示室鑑賞

②火おこし体験学習

③まが玉づくり

案内先：近江八幡市 13 校、草津市 13 校、守山市 8 校、栗東市 9 校、
湖南市 9 校、野洲市 6 校 合計 58 校

参加者：栗東市金勝小学校 1 名、近江八幡市金田小学校 2 名、
近江八幡市桐原東小学校 1 名 合計 4 名

◎野洲文化ホール J R 側看板の設置

令和 7 年 8 月 8 日（火）設置
幅 1.85m×縦 2.1m



野洲文化ホール J R 側看板（2025. 8. 14撮影）

令和 7 年度野洲市歴史民俗博物館事業（今後の予定）

【企画展等開催】

◎北村季吟トピック展

会期：令和 7 年 12 月 2 日（火曜日）～同月 27 日（土曜日）[開館日数 23 日]

概要：第 70 回北村季吟顕彰記念事業が 12 月 13 日に当館で開催されることに合わせて関連資料等を展示する。

【講座・講演会等】

◎第 92 回銅鐸研究会（共催：博物館友の会）

日時 令和 8 年 2 月 28 日（土） 14：00～16：00

講師 井上洋一氏（奈良国立博物館館長）

【市史編さん事業】

◎市史・郷土史講演会

日時：令和 8 年 3 月 7 日（土） 14：00～16：00

演題：未定

講師：古川史隆氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課主幹）

◎第 21 回市史・郷土史学習会

日時：令和 8 年 3 月 21 日（土） 13:30～15:00

内容：未定 担当：齊藤慶一（学芸員）

◎野洲市史編さんだより 第54号発行予定

日時：令和 8 年 2 月

◎春期テーマ展：郷土史展 三上藩（仮）

会期：令和 8 年 3 月 14 日（土）～5 月 10 日（日）

内容：未定 担当：齊藤慶一（学芸員）

令和7年度歴史民俗博物館友の会事業報告（中間報告）

※活動のうち市民・一般を対象に実施されたもの

◎悠紀斎田「お田植まつり」見学

日 時：令和7年5月25日（日）9：30～ 参加者：79名

◎弥生の森の秋まつり※昔遊びを通しての世代間交流

日 時：令和7年9月14日（日）9：30～12：00 参加者：311名

◎三上の「ずいき祭り」見学

日時 令和7年10月13日（祝・月） 10：00～ 参加者：14名

◎まちかど博物館

「妙光寺を歩く」

日時 令和7年10月27日（月）14：00～16：00 参加者：18名

◎古文書に親しむ会

原則として毎月2回木曜日開催 地域史料の解説ほか

◎友の会ニュース（偶数月発行）

4月号、6月号、8月号、10月号発行

◎「あべこ」発行（年1回発行）

令和7年7月25日発行

令和7年度歴史民俗博物館友の会事業（今後の予定）

◎八ヶ崎神事見学会

日 時：令和7年12月6日（土）9：30～11：00

◎歴史講座 統一テーマ「野洲市の建造物」

第1回

日 時：令和7年12月20日（土）

演 題：「近江の水場と暮らし」

講 師：石川慎治氏（滋賀県立大学教授）

第2回

日 時：令和8年1月17日（土）

演 題：「野洲の寺社建築」

講 師：山岸常人氏（京都大学名誉教授）

第3回 まちかど博物館を兼ねる

日 時：令和8年1月24日（土）

演 題：「石川教授と五条・野田を歩く」

講 師：石川慎治氏（滋賀県立大学教授）

◎火渡り神事見学会

日 時：令和8年2月25日（水）10：00～

◎友の会ニュース（偶数月発行）

12月号、2月号

令和 8 年度野洲市歴史民俗博物館 予算要求概要

令和 8 年度は、今年度に引き続き、野洲市の財政状況は依然として厳しい状況が続くと思われる。当館では、平成 22 年 4 月から市民無料化を実施し、関係機関との連携を進めながら、ドウタクくんの活用も含め、利用者数や利用者層の拡大のため取り組みを推進してきた。

歴史民俗博物館は、従来どおり銅鐸博物館と地域博物館の二面性を堅持し、学校教育や社会教育における歴史学習の場として広く活用されるよう運営を進める。また、古代の村を再現した弥生の森歴史公園を、特色ある野外博物館・体験学習施設として、博物館と一体となった活動の場となるよう、まが玉作りなどの体験学習事業を継続実施する。

予算の増額は厳しいものの、適正な維持管理を行いながら、地域の資料調査やその成果を展示公開し、市民に親しまれる博物館づくりにつとめる。

※（ ）内の金額は令和 7 年度当初予算額

1. 博物館管理運営事業 16,299 千円 (13,193 千円)

博物館の維持管理にかかる必要経費のほか、野洲市の歴史・民俗資料の収集や整理、調査研究等の成果を展示公開することにより地域の大切な文化財を後世へ適切に保存・継承することや、生涯学習や学校教育等の歴史学習の場を提供する。また、地域に残された歴史資料等の調査を行い、野洲市の歴史文化を明らかにし、まちづくりの基礎を提供する。

そのために必要な経費を計上し、安全で安心な施設を維持管理する。

また、令和 7 年度まで「市史編さん事業」という費目を設けていたが、フィルムデジタル化が終了したことで、予算規模が 200 千円程度に縮小したため、財政部局と協議の結果、令和 8 年度より当該事業に集約した。

これにより、当該事業の中で、市内の自治会や神社・寺院・個人等の所蔵史料の調査・整理し、その成果を「市史編さんだより」で紹介するとともに、大字や自治会が独自作成される史編さん支援も引き続き行い、まちづくり活動に寄与する機会を広めていく。

2. 博物館展示開催事業 1,549 千円 (1,153 千円)

秋期企画展「モノに残る文字・しるしー考古資料から考えるー（仮称）」を開催するほか、館蔵資料などを活用したテーマ展を開催し、地域の資料調査の成果を展示公開し、情報発信していく。また、銅鐸研究会などの講演会も継続開催する。

3. 弥生の森歴史公園管理事業 2,100 千円 (1,986 千円)

古代の村を再現した弥生の森歴史公園を、博物館と一体となった学習の場として活用できるよう維持管理を行う。また、古代のハス「大賀ハス」など四季折々の花木を活かしながら、来園者の憩いの場になるように整備する。

令和 6 年度まで「弥生の森体験学習事業」という費目を設けていたが、主に材料費の 500 千円程度の少額予算であったため、財政部局と協議の結果、令和 7 年度より当該事業に集約しており、当該事業の中で、まが玉や土器などを手作りする体験学習を実施する。

野洲市歴史民俗博物館 令和8（2026）年度事業計画（案）

[企画展示等]

秋期企画展 「モノに残る文字・しるし ―考古資料から考える―」（仮）
10月 3日（土）～11月23日（月・祝） 考古資料展
春期展示 3月14日（土）～ 5月10日（日）
郷土史展 三上藩（仮）
常設展 5月16日（土）～ 9月27日（日）
常設展 12月 1日（火）～ 3月 7日（日）
春期展示 3月13日（土）～ 5月 9日（日） 郷土史展

[講演会・講座]

市史・郷土史講演会 4月25日（土）午後2時～4時
市史・郷土史学習会 3月20日（土）午後1時30分～
企画展記念講演会 10月17日（土）午後2時～4時
11月 7日（土）午後2時～4時
銅鐸研究会（93） 6月20日（土）午後2時～4時
（94） 12月12日（土）午後2時～4時
※10月～3月の期間に歴史講座（友の会と共催） 全3回を予定

※展示替え等に伴う企画展示室（2階）の休室

5月12日（火）～ 5月15日（金）
9月29日（火）～10月 2日（金）
11月25日（水）～11月29日（日）
3月 9日（火）～ 3月12日（金）

※館内燻蒸に伴う臨時休館 9月15（火）～17日（木）

※年末年始の休館 12月28日（月）～令和9（2027）年1月4日（月）

※講演会・教室等は、講師との日程調整などにより変更することがあります。

※これ以外の館・友の会等の行事は適宜日程調整していきます。

令和 8 年度秋期企画展 開催要項（案）

1. 展覧会名 モノに残る文字・しるしー考古資料から考えるー
2. 概 要 野洲市からは飛鳥・奈良時代に役人が木の札に文字を記入した木簡が出土しています。その西河原遺跡群出土木簡が平成 23 年（2011）年に国の重要文化財に指定されてから 15 年が経過しました。また令和 7 年度に策定した野洲市文化財保存活用地域計画では西河原遺跡群・小篠原遺跡群（地方木簡などの文字関係資料が多数出土する官衙関連遺跡）などの重要遺跡について遺物の総合的な把握・整理・研究を検討すると位置付けています。
本企画展ではそれと関連して文字・印がある考古資料を取り上げ、考古資料との接点を探ります。
3. 会 期 令和 8 年 10 月 3 日（土）～11 月 23 日（祝・振替休日）
休館日／毎週月曜（月曜が祝日・振替休日にあたる場合は開館）、
祝日の翌日。
4. 会 場 野洲市歴史民俗博物館（銅鐸博物館）2 階企画展示室
滋賀県野洲市辻町 57 番地 1 Tel (077) 587-4410
5. 主 催 野洲市・野洲市教育委員会
6. 講 演 会 会期中、企画展に即した講演会を開催します。
※各詳細は別途起案します。
7. 展示資料案 資料名「内容」（遺跡名）
 - 地名
 - ・刻書土器「福林寺」（八夫遺跡）
 - ・陶器製手りゅう弾「中里」（中主中学校）
 - ・瓦「福林寺」（江部遺跡）
 - 出来事
 - ・火舎「十王 兵主 キシン」（六条遺跡）
 - 祈り
 - ・墨書土器「神」「神主」（西河原森ノ内遺跡）
 - ・呪符木簡「□□急々如律令」（街道遺跡）
 - ・経石「佛説阿弥陀経 如是我 門（聞）一時（佛）在舍衛國祇」（街道遺跡）
 - ・輪宝墨書土器 （三上遺跡）
 - ・柿経「妙法蓮華経巻第一」（西河原森ノ内遺跡）
 - ・卒塔婆「南無阿弥陀仏」（光明寺遺跡）
 - 吉祥句

- ・青磁輪花碗「河濱遺范」(五条遺跡)
- ・青磁碗「金玉満堂」(吉地薬師堂遺跡)

●年号

- ・木簡「丙子年十一月作文記 牒玄逸～」(湯ノ部遺跡)
- ・硯「永禄十一年 戊のゑたつとし五月十二日吉日口☆」(上永原城遺跡)
- ・直縁大皿「至徳四年九月御新之内」(吉地薬師堂遺跡)
- ・染付「大明年製」(上永原遺跡)
- ・銅銭「和同開珎」(光相寺遺跡)

●人名

- ・墨書土器「大宅」(五条遺跡)
- ・黒色土器椀「古人」(西田井遺跡)
- ・鏡「鏡陳氏作甚大工～」(大岩山第二番山林古墳) ※レプリカ
- ・私印「乙貞」(服部遺跡・守山市教育委員会所蔵)
- ・墨書土器「麻呂」(手原遺跡・栗東市教育委員会所蔵)

●文字関連資料

- ・水滴(西河原森ノ内遺跡)
- ・刀子(光相寺遺跡)
- ・円面硯(西河原森ノ内遺跡)

8. 入館料 大人 300 円 学生 150 円 小中生 100 円
20 名以上の団体は 大人 250 円 学生 100 円 小中生 50 円

関連イベント① 木簡をつくってみよう！！
筆で木に文字を書いてもらうイベントを開催します。

関連イベント② 西河原木簡の時代のあそび(7～9 世紀)
・古代のボードゲーム：かりうち(奈良時代)

野洲市歴史民俗博物館(銅鐸博物館)主要展覧会一覧			
年 度	開催規模	展 覧 会 名・内 容	入館者
昭和63年度	開館記念特別展	大岩山出土銅鐸100年	-
平成元年度	巡回展	日本列島発掘展ー古代の美とロマンを求めてー	-
	夏期企画展	銅鐸の周辺ー考古資料より近江の文化を探るー	-
	秋期企画展	仏教美術と信仰ー野洲川下流域の観音信仰ー	-
平成2年度	春期企画展	佐々木六角氏と野洲	-
	夏期企画展	農民のくらし	-
	秋期特別展	平家物語と祇王ー祇王井開削・祇王没後八百年ー	-
平成3年度	春期企画展	いのりとまつりー野洲の年中行事ー	-
	夏期企画展	古代の玉と玉作りー市三宅東遺跡と近江の玉作りー	-
	開館3周年特別展	銅鐸から銅鏡へー卑弥呼の鏡を探るー	-
平成4年度	春期企画展	職人と道具	-
	夏期企画展	中世集落を掘る	-
	秋期特別展	燃える近江ー天保一揆150年ー	-
平成5年度	春期企画展	野洲さらしー近江上布をささえた人々ー	-
	夏期企画展	大岩山古墳群とその周辺	-
	開館5周年特別展	倭人の絵画ー銅鐸と土器にみる弥生の世界ー	-
平成6年度	春期企画展	東氏・遠藤氏と三上藩	-
	秋期特別展	相撲	-
平成7年度	春期企画展	滋賀の石器時代	-
	町制40周年特別展	北村季吟ー俳諧・和歌・古典の師ー	-
平成8年度	春期特別展	銅鐸ー埋納と終焉を考えるー	-
	秋期企画展	近江の古社 御上神社の歴史と美術	-
平成9年度	春期特別展	鉄から銅へー古墳時代の製鉄と鉄器生産ー	-
	秋期企画展	地蔵ー仏教美術と信仰ー	-
平成10年度	春期企画展	国宝 大笹原神社の歴史と美術	-
	開館10周年特別展	銅鐸を造るー大岩山銅鐸とその時代ー	-
平成11年度	春期企画展	ふるさとものやきものー近江のやきもの・野洲のやきものー	-
	秋期特別展	須恵器の美と世界ー鏡山古窯址群の時代ー	-
平成12年度	春期特別陳列	館蔵品・寄託品展	-
	秋期特別展	近江の銅鐸と河内の銅鐸ーその特色や接点を考えるー	-
平成13年度	春期企画展	川の生活史	-
	平和と人権の写真展	シベリアを越えてー杉原千畝のビザとユダヤ人の脱出行ー	-
	秋期特別展	古代国家の始まりー近江野洲の王たちー(桜生史跡公園開園記念)	-
平成14年度	春期特別展	銅鐸祭祀の終焉ー近江と遠江ー	-
	平和と人権の写真展	人権フォトコンテスト作品展	-
	秋期企画展	中山道400年記念「近江中山道」	-
平成15年度	春期テーマ展	ふり返って野洲	-
	秋期企画展	開館15周年企画展「吉野ヶ里ー戦いの始まりとクニの成立ー」	-
平成16年度	春期テーマ展	ふり返って野洲2「古絵図からさぐる野洲のなりたち」	2,197
	秋期特別展	野洲市誕生記念特別展「野洲の歴史と文化」	-
平成17年度	春期企画展	野洲市誕生記念企画展「北村季吟ー没後300年記念展ー」	-
	テーマ展	アフガニスタンに届け平和の小包ー少女たちの平和学習ー	-
	秋期企画展	近江天保一揆とその時代(第9回全国義民サミット開催記念)	-

平成18年度	春期企画展	竹工芸 杉田静山の世界	-
	秋期企画展	野洲の弥生時代－野洲川下流域の遺跡群－	1,335
平成19年度	春期テーマ展	野洲の古墳－近江野洲の王たち2－	-
	夏期テーマ展	永原御殿と朝鮮人街道－永原共有文書を中心に－	-
	秋期企画展	近江富士 三上山(第1回ふるさと富士サミット開催記念)	-
平成20年度	春期企画展	技と美の世界－野洲の伝統工芸－	-
	夏期テーマ展	環境問題への取り組み－わたしたちができること－	1,582
	開館20周年展	開館20周年記念リニューアル展示	-
平成21年度	春期企画展	古代地方木簡の世紀 西河原木簡が語るもの－古代近江野洲の様相－	1,932
	夏期テーマ展	女性史の発見－資料から見た女性とくらし－	1,051
	秋期企画展	北村季吟と新玉津嶋神社	1,432
平成22年度	春期テーマ展	「くらしの今昔」	1,488
	秋期企画展	史跡大岩山古墳群の全貌	1,962
平成23年度	春期テーマ展	野洲駅開業120周年展「鉄道・駅・まち」	3,486
	秋期企画展	近江の古墳と大岩山古墳群	2,251
平成24年度	春期企画展	平家物語と祇王－妓王寺と祇王井－	3,005
	夏期企画展	大岩山銅鐸と近江	1,778
平成25年度	春期テーマ展	昭和のくらし－むかし・なつかし・モノがたり－	2,256
	開館25周年記念展	銅鐸－日本最大銅鐸の里帰り－	12,401
	秋期企画展	野洲川の歴史と文化	
平成26年度	春期テーマ展	昭和のくらし－昔の道具にまなぶ－	3,211
	秋期企画展	近江の自然災害－地震と水害の歴史－	2,411
平成27年度	春期テーマ展	三上藩・藩士驚見家の歴史	3,412
	秋期企画展	竹工芸の技と美－杉田静山作品展－	3,395
平成28年度	春期テーマ展	近江の老農 大岡利右衛門	2,725
	秋期企画展	湖辺のくらし－琵琶湖周辺の生活史－	2,031
平成29年度	特集陳列	杉田静山 竹工芸作品、北村季吟	2,918
	秋期企画展	近江の古社 御上神社の歴史と文化－遷座1300年記念－	1,879
平成30年度	特集陳列	滋賀県野洲の相撲展、北村季吟	3,070
	開館30周年特別展	遷座1300年記念 兵主大社展－琵琶湖を渡って来た神さま－	2,752
令和元年度	春期テーマ展	竹工芸作家 杉田静山の世界－竹に魅せられて－	2,998
	秋期企画展	人と魚の歴史学	1,781
令和2年度	春期テーマ展	六角・信長・秀吉の時代と野洲－戦国近江で生きた人びと－	509
	秋期テーマ展	地中からのメッセージ－発掘調査で紐解く－	819
令和3年度	春期テーマ展	魔除け・厄除けの文化－滋賀県野洲の暮らしと風習－	1,399
	秋期企画展	大岩山銅鐸の形成－近畿式銅鐸と三遠式銅鐸の成立と終焉－	1,440
令和4年度	特集陳列	滋賀県野洲市 大篠原の歴史と文化	1,182
	秋期企画展	近江湖南に華開く宗教文化－野洲・守山の神と仏－	2,487
令和5年度	夏期テーマ展	新収蔵品展	1,832
	秋期企画展	四面の鏡－海を越え、つながる王－	1,707
令和6年度	夏期テーマ展	夏休み！こども博物館！	1,756
	秋期企画展	北村季吟－芭蕉の師・生誕400年記念－	1,321
令和7年度	夏期テーマ展	竹工芸作家 杉田静山の世界	2,600
	秋期企画展	野洲川下流域の暮らしの変貌－発掘調査にみる古代・中世－	進行中

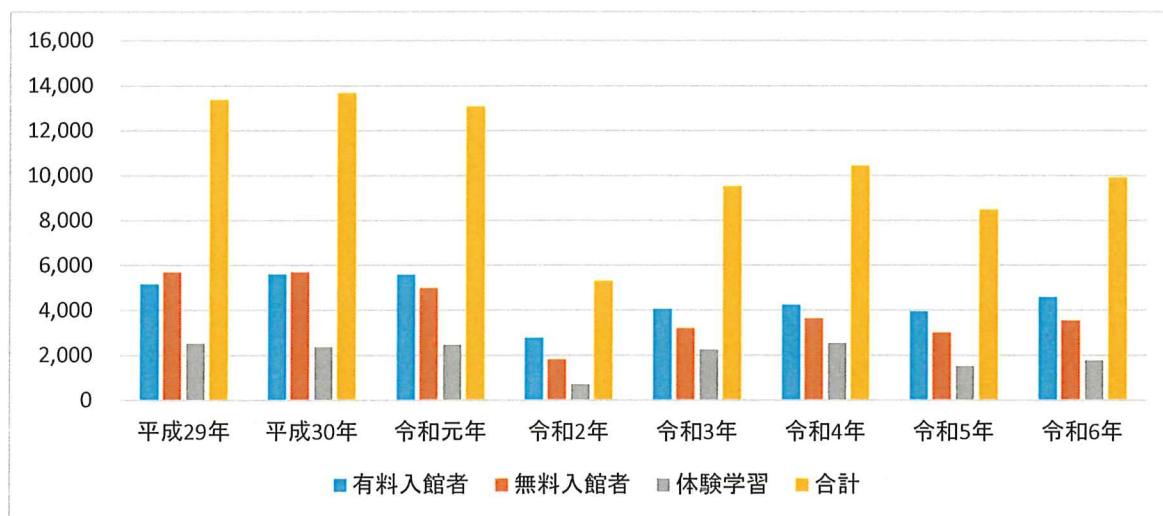
入館者等の推移

単位:人

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有料入館者	288	497	579	569	598	266	801	363	208	0	0	89	4,258
無料入館者	197	305	402	342	372	195	403	1,269	91	0	0	72	3,648
体験学習	159	355	424	375	640	108	132	104	32	20	21	173	2,543
計	644	1,157	1,405	1,286	1,610	569	1,336	1,736	331	20	21	334	10,449
令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有料入館者	272	449	323	396	584	268	373	486	202	145	196	260	3,954
無料入館者	136	473	247	239	311	194	332	579	128	89	131	152	3,011
体験学習	89	178	111	251	455	92	115	55	62	15	42	57	1,522
計	497	1,100	681	886	1,350	554	820	1,120	392	249	369	469	8,487
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有料入館者	293	405	450	727	680	287	381	416	204	147	272	326	4,588
無料入館者	176	555	149	363	293	317	291	407	200	165	245	387	3,548
体験学習	88	200	216	245	499	135	95	88	29	40	46	86	1,767
計	557	1,160	815	1,335	1,472	739	767	911	433	352	563	799	9,903
令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有料入館者	301	485	489	597	708	321	371						3,272
無料入館者	219	326	145	321	457	601	351						2,420
体験学習	100	243	232	295	539	97	118						1,624
計	620	1,054	866	1,213	1,704	1,019	840	0	0	0	0	0	7,316
令和4年度と令和7年度比較	96.27%	91.10%	61.64%	94.32%	105.84%	179.09%	62.87%						(令和6年度 6,845)
令和5年度と令和7年度比較	124.75%	95.82%	127.17%	136.91%	126.22%	183.94%	102.44%						
令和6年度と令和7年度比較	111.31%	90.86%	106.26%	90.86%	115.76%	137.89%	109.52%						

野洲市歴史民俗博物館入館者等数

年度	有料入館者	無料入館者	体験学習	合計	備考
平成29年	5,164	5,694	2,524	13,382	
平成30年	5,615	5,694	2,371	13,680	
令和元年	5,600	5,004	2,467	13,071	
令和2年	2,784	1,807	712	5,303	コロナ
令和3年	4,065	3,204	2,254	9,523	コロナ
令和4年	4,258	3,646	2,543	10,447	コロナ
令和5年	3,954	3,011	1,522	8,487	
令和6年	4,588	3,548	1,767	9,903	



歴史民俗博物館の課題と対応

課題①	歴史民俗資料の調査 市内の既存共同体のあり方の変化により、これまで団体で所蔵されてきた歴史資料が散逸の危機に瀕するケースが増加しており、資料の緊急的な保護や対策が必要になっています。 また、保護が必要な寄蔵・寄託資料が膨大な量に及び、学芸員の人員的課題により内容調査・整理が追いついておらず、歴史資料専用の第三収蔵庫が飽和状態にありまして、新規案件の対応に支障をきたしております。 例)未処理あるいは処理中案件 福谷三郎兵衛家(永原)・故杉田静山作品群(西河原)等
対応	学芸専門スタッフの充実 現在滞留している歴史的資料を効率的に処理し、文化継承・保護のニーズに対応するためには、現在の人的体制では困難であると考えています。そのため、歴史担当学芸員1名の新規採用を働きかけています。 現状⇒考古2名、歴史1名、市史編さん会年任職員1名 将来⇒考古2名、歴史2名、市史編さん会年任職員1名
課題②	企画展・講演会の開催 市の財源が乏しく、予算確保が難しい状況が続いており、規模や内容の大幅な見直しや再検討を余儀なくされています。
対応	企画展開催の今後 インパクトの強い企画展を開催し、博物館の魅力や求心力を高めるため、他館との連携等やアニバーサリー記念行事など、より強力な発信力が見込める企画を選択・検討するとともに、積極的な広報活動を展開します。 例)次の事業の開催を検討する。 ・湖南4市連携「近江湖南の浄土真宗文化」 ・文化庁主催「発掘された日本列島」展(巡回)の開催立候補 ・設立40周年記念イベント

課題③	弥生の森歴史公園の管理・運営
	古代米や大賀ハス、睡蓮池は、館職員が栽培管理していますが、栽培管理技術マニュアルはあるものの、実作業の引継ぎができておらず、後継者が育っていません。また、近年は水不足により栽培が困難になっている状況です。 また、堅穴住居をバックにした大賀ハスは、6～7月の開花時期に合わせて注目度が高く、話題性があり、マスコミ等にも取り上げられておりますが、入館者の増加には結びついていません。 堅穴住居3棟は、建築から30年を経過しており、葺葺屋根の老朽化が著しく改修等が急務になっております。 他にも、園内には高木が多く、密林化しており、立ち枯れによる倒木が発生しており、危険な状態になりつつあります。間伐等の措置が急務となっております。
対応	予算確保のための方策
	弥生の森歴史公園活性化のためのネーミングライツやクラウドファンディングの活用、さらには団体向け体験学習の広報活動を強化して、集客と資金の確保を目指します。

課題④	博物館設備の修繕他
	「博物館大規模改修工事」(空調設備、受変電盤、エレベータ、照明器具、トイレ)の基本設計を令和5年度に完了し、5か年に分けて工事をする計画であったものの、実施設計の予算確保に至らず令和8年度を迎えようとしています。 教育委員会の大規模改修工事は義務教育現場の優先順位が高いため、本館の改修工事を実施する目途が立たない状況です。 博物館大規模改修工事以外に「展示室の刷新」や「研修室の設備更新」などを政策提案いたしましたが、採択には至りませんでした。 他にも、駐車場の外灯や通路等の路面の補修も課題となっています。
対応	予算確保のための方策
	課題③の対応の他、以下の項目を検討しています。 ・民具資料を活用し、第4収蔵庫にてバックヤードワークショップの実施 ・歴史入門講座の充実 ・ドウタクくんによるイベント企画 ・研修室の利用活性化(民間団体へのPR強化) ・夏休みクイズラリー企画の継続 ・スポンサー企業の発掘(ネーミングライツ、クラウドファンディング)